

2023 年度 適合審査業務について

平素は当センターの活動にひとかたならぬご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

1. 見積書提出について

1.1 見積依頼の参考様式を添付いたします。

他の様式でもかまいませんが、業務名（事業名）・地区名・計画処理方式・規模（計画処理人口）、付加する設備等を明記してください。

また、業務内容、業務時期、特殊事情などがありましたら簡潔にご記入ください。（近年、農業集落排水処理施設の改築・統合などの事例が増えております。適合審査業務の概要を簡単に記載していただければ幸いです。）

1.2 見積依頼はお手数ですが下記宛にメールしてください。

（お申し出いただければ、見積依頼書の電子データ(エクセル)をお送りいたします。）

正式な見積書送付に先立って、見積書（案）をお送りして、内容のご確認をいただきます。

<依頼先>

〒105-0004 東京都港区新橋五丁目3 4 番 4 号

一般社団法人 地域環境資源センター

設計審査班

e-mail： 小西（m.konishi@jarus.or.jp）,

村井（y.murai@jarus.or.jp）

TEL：03-3432-6289、FAX：03-3432-0743

《業務内容の記載・例・》

○既設回分槽ばっ気攪拌装置を、微細気泡散気筒と攪拌装置に更新し、併せて送風機を更新する。（その他の施設・機器は既設を使用する）

○A処理区とB・C処理区の生活排水処理を統合し、既設A処理区農業集落排水処理施設（***人槽）を利用して処理槽の一部増築と改築を図る。機器・配管等の一部の更新を除いて新設とする。

一般社団法人 地域環境資源センター
理事長 林 田 直 樹 様

団体名

代表者

住所

農業集落排水〇〇〇〇〇〇〇〇〇補助事業
〇市(町村)〇〇地区(〇処理区)
JARUS型処理施設適合審査業務について
(依頼)

このことについて、下記により見積を依頼します。

記

1. 業務名
.....事業
〇〇県〇〇市町村△△地区
農業集落排水処理施設適合審査業務
2. 処理方式
処理方式 1 系列
3. 処理対象人口
人
4. 業務内容
施設条件 a 新設
 b 既設施設(改造、更新)
既設処理方式: JARUS-〇〇型、処理対象人口*人、*系列
機器更新のみの場合: (更新機器名)
5. 付加施設等の有無
無 有 (名称:)
6. 見積書提出期限
令和5年 月 日
7. 見積書提出先
名称 / 部署名 / 電話番号
氏名 (e-mail アドレス)
〒住所
8. その他(業務内容、業務時期、特殊事情などがありましたら簡潔にご記入ください)

2. 業務開始手続き

① 見積書提出（見積依頼）

見積依頼に当たっては、業務契約での業務名を記入してください。
（捺印して PDF をお送りください。）

② 業務申込書、名簿、確認書提出

見積書の提出と一緒に、「業務申込書、名簿、確認書、その他」の様式を、メール添付ファイル（エクセル）にてお送りいたします。

添付のエクセルファイルは業務途中・終了時までに必要な空欄を埋めて、当方にて電子データで保存します。

③ 業務開始手続き

- ・「適合審査業務申込書」をご提出ください。

適合審査業務申込書は、公印を押して原本を送付してください。

※事業名は、契約書の業務名としてください。

ご提出いただきましたら、当方から「応諾書」を送付します。

また、契約書の様式は当方のものでよろしければ、当方で作成して応諾書と一緒に送付します。

- ・契約に当たっては、契約の履行期限を知らせください。

（契約日は空欄でもかまいません。）

当方で2部作成して送付しますので、1部に捺印して送り返してください。

3. 業務開始～納品までの流れ

① 初回打合せ（JARUS 会議室で実施）

- ・業務契約締結後に初回打合日の調整をさせていただきます。

初回打合せ1週間前までに、容量計算書・フローシート・平断面（寸法のわかる程度）を電子ファイル（PDF 等）で当方に提出してください。

また、「名簿、確認書」（エクセルシート）の空欄を可能な限り埋めてメールに添付して送付してください。

② 適合証添付資料作成業務（主としてメールにて質疑応答）

（2ヶ月程度必要）

③ 適合証交付申請：適合審査委員会の1ヶ月前の月上旬に提出してください。

適合審査に必要な書類（適合証添付資料）の完成度によって、当方から適合審査月を連絡いたします。

<資料完成度 90%程度：市町村決裁書類によっては一式必要>

④ 適合審査事前審査会（委員会月上旬に開催）

⑤ 適合審査委員会（該当月の20日前後）

⑥ 適合証発行（委員会翌日）

⑦ 納品：委員会指摘事項がなければ委員開催日の10日後程度で送付いたします。

（指摘事項があれば、修正・確認期間が必要となります）

表-1 令和5年度 大臣認定取得 JARUS型汚水処理方式一覧表

区分	略 称	認定処理対象人口 (人)	処理性能 (赤字:大臣認定書記載数値)					適合証名称 (認定証名称の一部略あり)
			BOD	SS	COD	T-N	T-P	
生物膜処理法	JARUS-I96型	51 ~ 1,800	20	50	-	-	-	日本農業集落排水協会-I96型 農業集落排水処理施設
	JARUS-III96型	101 ~ 2,000	20	50	-	-	-	日本農業集落排水協会-III96型 農業集落排水処理施設
	JARUS-III G型	101 ~ 3,000	20	50	-	25	-	日本農業集落排水協会-III G型 農業集落排水処理施設
	JARUS-III R型	101 ~ 3,000	20	50	-	25	-	日本農業集落排水協会-III R型 農業集落排水処理施設
	JARUS-IV S型	101 ~ 2,000	20	50	-	20	-	日本農業集落排水協会-IV S型 農業集落排水処理施設
	JARUS-IV H型	101 ~ 2,000	20	50	20	20	1	日本農業集落排水協会-IV H型 農業集落排水処理施設
	JARUS-S96型	51 ~ 400	20	50	-	-	-	日本農業集落排水協会-S96型 農業集落排水処理施設
浮遊生物処理法	JARUS-X I 96型	501 ~ 10,000	20	50	-	-	-	日本農業集落排水協会-X I 96型 農業集落排水処理施設
	JARUS-X II 96型	501 ~ 10,000	20	50	-	15	-	日本農業集落排水協会-X II 96型 農業集落排水処理施設
	JARUS-X II G96型	501 ~ 10,000	10	15	15	15	-	日本農業集落排水協会-X II G96型 農業集落排水処理施設
	JARUS-X II H型	501 ~ 10,000	10	15	15	15	1	日本農業集落排水協会-X II H型 農業集落排水処理施設
	JARUS-X III 96型	501 ~ 10,000	10	15	15	10	1	日本農業集落排水協会-X III 96型 農業集落排水処理施設
	JARUS-X IV 96型	101 ~ 6,000	20	50	-	15	-	日本農業集落排水協会-X IV 96型 農業集落排水処理施設
	JARUS-X IV G型	201 ~ 10,000	10	10	15	10	-	連続流入間欠ばっ気方式 地域資源循環技術センター-X IV G型/201~10,000人槽/合併浄化槽/汚物処理性能
	JARUS-X IV R型	101 ~ 10,000	10	15	15	30	-	JARUS-X IV R型 農業集落排水処理施設
	JARUS-X IV P型	101 ~ 6,000	20	50	-	15	3	日本農業集落排水協会-X IV P型 農業集落排水処理施設
	JARUS-X IV P1型	101 ~ 6,000	20	50	-	15	1	日本農業集落排水協会-X IV P1型 農業集落排水処理施設
	JARUS-X IV GP型	201 ~ 10,000	10	10	15	15	1	鉄溶液注入連続流入間欠ばっ気方式 地域資源循環技術センター-X IV GP型/201~10,000人槽/合併浄化槽
	JARUS-X IV H型	101 ~ 6,000	10	15	15	10	1	日本農業集落排水協会-X IV H型 農業集落排水処理施設
	JARUS-F _M 型	51 ~ 700	5	5	10	15	0.5	地域資源循環センター-F _M 型 農業集落排水処理施設
	JARUS-膜分離	101 ~ 4,000	10	-	10	10	1	日本農業集落排水協会型 膜分離活性汚泥方式 農業集落排水処理施設
	JARUS-高度膜分離	101 ~ 4,000	10	-	10	10	1	日本農業集落排水協会型高度リン除去膜分離活性汚泥方式 農業集落排水処理施設
	JARUS-膜分離06	101 ~ 4,000	5	5	10	15	1	膜分離活性汚泥方式地域資源循環センター-06型(農業集落排水処理施設)
JARUS-OD96型	1,001 ~ 10,000	20	50	-	-	-	日本農業集落排水協会仕様-OD96型 農業集落排水処理施設	
JARUS-ODH型	1,001 ~ 10,000	20	50	-	15	1	日本農業集落排水協会仕様-ODH型 農業集落排水処理施設	

注:赤字は大臣認定証記載の数値です

表-2 適合審査業務委託予定額(参考例)

令和5年度 JARUS型処理施設適合審査業務 歩掛・見積金額等一覧

金額区分		処理方式	項目	直接原価					間接原価(円)		業務原価 (円)	一般管理費等		適合審査業務価格 1万円未満切り捨て(円)	
				直接人件費(歩掛(人)、円)				小計 1千円未満切り捨て(円)	A × α / (1 - α) α = 35%	改め (円)		D = A+B+C	D × β / (1 - β) β = 35%		改め (円)
				主任技師(人)	技師A(人)	技師B(人)	少々計(円)								
基本的区分	加算区分	備考(単価)	62,200	55,200	45,300	A	B	A+B	(円)	C	(円)	E	F=D+E		
①	-	一般処理方式	1.0	5.8	8.6	771,940	36,000	807,000	415,660	415,000	1,222,000	658,000	658,000	1,880,000	
②-(I)	⑨	大型、高度処理処理方式(I)	1.3	7.7	9.9	954,370	36,000	990,000	513,892	513,000	1,503,000	809,308	809,000	2,310,000	
②-(II)	⑨	大型、高度処理処理方式(II)	1.3	9.6	11.6	1,136,260	36,000	1,172,000	611,832	611,000	1,783,000	960,077	960,000	2,740,000	
②-(III)	⑨	大型、高度処理処理方式(III)	1.3	11.7	13.4	1,333,720	36,000	1,369,000	718,157	718,000	2,087,000	1,123,769	1,123,000	3,210,000	
③	-	膜分離活性汚泥処理方式	1.3	7.3	9.8	927,760	36,000	963,000	499,563	499,000	1,462,000	787,231	787,000	2,240,000	
④	④-(I)	FRP構造処理方式 S型 / (FM型 加算)	0.6	3.4	6.1	501,330	36,000	537,000	269,947	269,000	806,000	434,000	434,000	1,240,000	
⑤	-	基本的な構造躯体使用目的の変更を行わない改築・改修	1.0	4.3	7.5	639,310	36,000	675,000	344,244	344,000	1,019,000	548,692	548,000	1,560,000	

単独又は加算する方式の歩掛 (金額は単独で付加する場合)

⑥(単独又は加算)	⑥	汚泥改質機構処理付加方式	0.0	0.8	1.6	116,640	36,000	152,000	62,806	62,000	214,000	115,231	115,000	320,000
⑦(加算)	⑦	汚泥量調整機構付加方式	0.0	1.7	2.9		36,000							
⑧(単独又は加算)	⑧	紫外線消毒装置採用方式	0.0	0.8	1.6	116,640	36,000	152,000	62,806	62,000	214,000	115,231	115,000	320,000

参考：基本的処理方式に歩掛加算する処理方式の例

①+⑥	⑥	一般処理方式+汚泥改質機構処理付加方式	1.0	6.6	10.2	888,580	36,000	924,000	478,466	478,000	1,402,000	754,923	754,000	2,150,000
②-(I)+⑥	⑥	大型、高度処理処理方式(I)+汚泥改質機構処理付加方式	1.3	8.5	11.5	1,071,010	36,000	1,107,000	576,698	576,000	1,683,000	906,231	906,000	2,580,000
②-(II)+⑥	⑥	大型、高度処理処理方式(II)+汚泥改質機構処理付加方式	1.3	10.4	13.2	1,252,900	36,000	1,288,000	674,638	674,000	1,962,000	1,056,462	1,056,000	3,010,000
②-(III)+⑥	⑥	大型、高度処理処理方式(III)+汚泥改質機構処理付加方式	1.3	12.5	15.0	1,450,360	36,000	1,486,000	780,963	780,000	2,266,000	1,220,154	1,220,000	3,480,000
①+⑦	⑦	一般処理方式+汚泥量調整機構付加方式	1.0	7.5	11.5	997,150	36,000	1,033,000	536,927	536,000	1,569,000	844,846	844,000	2,410,000
②-(I)+⑦	⑦	大型、高度処理処理方式(I)+汚泥量調整機構付加方式	1.3	9.4	12.8	1,179,580	36,000	1,215,000	635,158	635,000	1,850,000	996,154	996,000	2,840,000
②-(II)+⑦	⑦	大型、高度処理処理方式(II)+汚泥量調整機構付加方式	1.3	11.3	14.5	1,361,470	36,000	1,397,000	733,099	733,000	2,130,000	1,146,923	1,146,000	3,270,000
②-(III)+⑦	⑦	大型、高度処理処理方式(III)+汚泥量調整機構付加方式	1.3	13.4	16.3	1,558,930	36,000	1,594,000	839,424	839,000	2,433,000	1,310,077	1,310,000	3,740,000
①+⑧	⑧	一般処理方式+紫外線消毒装置採用方式	1.0	6.6	10.2	888,580	36,000	924,000	478,466	478,000	1,402,000	754,923	754,000	2,150,000
②-(I)+⑧	⑧	大型、高度処理処理方式(I)+紫外線消毒装置採用方式	1.3	8.5	11.5	1,071,010	36,000	1,107,000	576,698	576,000	1,683,000	906,231	906,000	2,580,000
②-(II)+⑧	⑧	大型、高度処理処理方式(II)+紫外線消毒装置採用方式	1.3	10.4	13.2	1,252,900	36,000	1,288,000	674,638	674,000	1,962,000	1,056,462	1,056,000	3,010,000
②-(I)+⑦+⑧	⑦+⑧	大型、高度処理処理方式(I)+汚泥量調整機構付加方式+紫外線消毒装置採用方式	1.3	10.2	14.4	1,296,220	36,000	1,332,000	697,965	697,000	2,029,000	1,092,538	1,092,000	3,120,000
②-(II)+⑦+⑧	⑦+⑧	大型、高度処理処理方式(II)+汚泥量調整機構付加方式+紫外線消毒装置採用方式	1.3	12.1	16.1	1,478,110	36,000	1,514,000	795,905	795,000	2,309,000	1,243,308	1,243,000	3,550,000

加算処理方式調整		会員調整(割引)			
⑨ or ④-(I) (円)	見積金額 F' (円)	割引額 G (円)		見積金額 H (円)	
E'	F' =F+E	基本的 処理方式	加算処理 方式	基本的 処理方式	加算処理 方式
⑨		188,000	-	1,690,000	-
500,000	2,810,000	231,000	281,000	2,070,000	2,520,000
500,000	3,240,000	274,000	324,000	2,460,000	2,910,000
500,000	3,710,000	321,000	371,000	2,880,000	3,330,000
④-(I)		224,000	-	2,010,000	-
170,000	1,410,000	124,000	141,000	1,110,000	1,260,000
		156,000	-	1,400,000	-

加算処理方式⑨	見積金額
500,000	3,080,000
500,000	3,510,000
500,000	3,980,000
500,000	3,340,000
500,000	3,770,000
500,000	4,240,000
500,000	3,080,000
500,000	3,510,000
500,000	3,620,000
500,000	4,050,000

直接人件費単価 (R5)

項目	単価 (円)
主任技師	62,200
技師 A	55,200
技師 B	45,300